

Shine

津幡南中学校長 田中 宏志
3年学年主任 村上 直哉

さあ、やるぞ！ 公立受検に向けてラストスパート！



先日、公立高校の受検倍率が発表されました。倍率は定員に対する受検生の集まり具合を表したものです。たくさんの受検生が集まる毎年人気のある学校もあれば、定員に達していない学校もあります。ただ、倍率がどうであれ、自分が3年間その学校に通いたい！と思う気持ちが強ければ、倍率に関係なく合格の扉をこじ開ける原動力になります。「絶対に合格するぞ」という強い意志でがむしゃらに頑張っている人が本番には強いものです。自分の力を信じて、立ち向かっていってほしいと願っています。

3月9日（月）に学校別受検者ミーティングを行います

来週の月曜日に、受検校別の打ち合わせ会が行われます。集合時間、担当の先生やチェックの場所、持ち物などしっかりと確認し、見通しを持って火曜日、水曜日の入学試験本番を迎えましょう。

	テスト日課	内 容
1限	月曜1限 8:40～ 9:30	中学校生活 最後の授業は何かな？
2限	月曜2限 9:45～10:35	
3限	ミーティング 10:50～11:40	学校別に集まって打ち合わせを行います
給食	11:40～12:15	給食もあと2回です。
帰りHR	12:20～12:30	担任の先生から激励の言葉
		下校(下見の生徒はそのまま出発しても構いません。)

準備をすることで心に余裕が生まれます

下記のように各高校で「下見」を実施しています。これは、受検生たちが受検当日の朝、落ち着いて会場に向かうことができるように、事前に会場までの交通機関などの行き方、さらに玄関の位置や当日朝の集合場所などの確認をしておくためのものです。受検は一発勝負です。何が起るかわかりません。「ここからなら歩いて何分で着けるから…」などわかっているだけでも、当日の朝、落ち着いて行動することができます。



高校名	下見時間	高校名	下見時間
金沢泉丘	13:30～15:00	金沢北陵	なし
金沢二水	13:00～15:00	津幡	13:30～15:00
金沢伏見	13:00～15:00	羽咋	なし
金沢商業	なし	羽咋工業	13:30～15:00
県立工業	なし	輪島	なし
金沢桜丘	15:00～16:00	市立工業	14:00～16:00
金沢西	14:00～16:00	七尾	なし
金沢辰巳丘	なし	金沢向陽	なし

下見から受検は始まっています。身だしなみや態度をしっかりと意識して行動しましょう。

たった1秒の「ハイ」に3年間の思いを詰め込んで…



卒業式練習が先週からスタートしました。3年間の行事の中で最も大切な行事は「入学式・卒業式」です。2023年4月に、期待に胸を膨らませこの学校の校門をくぐったあの時からはや3年の月日が流れました。君たちから津幡町として共通の新しい制服となりました。初めてのブレザーに身を包み、ネクタイを締めた姿は、見慣れないせいか12歳なのに少し大人になったようにも感じられ、私自身とても印象に残っています。来賓の方々や多くの保護者に見守られ、胸を張って堂々と入場することができましたね。

緊張感の中、初めての学級担任の先生から呼名された時のことを覚えているでしょうか。どの生徒も元気よく、張りのある声で「ハイ」と大きく呼名に応えてくれました。私はあの時の初々しい姿を今でも忘れません。

あれから3年。多くの仲間との人間関係の中でそれぞれが成長してきたことと思います。時には意見が合わなくてぶつかり合い、涙したこともあったでしょう。また、分かち合えた喜びや成功に嬉しさを爆発させたこともあったでしょう。そんな君たち一人ひとりを思い出しながら、担任の先生は、心を込めて最後の呼名をします。

そこで、義務教育が終わりをむかえ、今から自分の道を切り開いていくあなたたちにお願ひがあります。

それは、3年間の成長の証を「ハイ」というたった1秒の音に詰め込んでほしいということです。どんな時もあなたのことを温かく支えてくれた家族に、この「はい」という返事に乗せて感謝の気持ちを届けてほしいのです。おかげで私はこんなに成長できました。ありがとうございました。

卒業式では、声を出す場面がこの卒業証書授与と歌（国歌・校歌・卒業の歌）しかありません。一人一人が輝く場面で、最高の輝き「シャイン」を見せてください。



素敵な歌声を響かせてくれることでしよう！



卒業式では、3つの歌を歌います。一つは、国歌斉唱。二つ目は、3年間親しみ深い母校の「校歌」、そして、三つ目は卒業の歌として「旅立ちの日に」です。国歌は、日本国民として幼少期からずっと歌い続けてきた歌です。先日の冬季オリンピックでも表彰台でメダリストたちが涙を流しながら歌っている場面を見かけ、胸が熱くなりました。津幡南中学校の校歌は、とても明るく歌いやすい歌です。元気よく最後の校歌を歌いあげてほしいと思います。卒業式のフィナーレを飾るのは、旅立ちの日に。昨年の合唱コンクールでも歌いましたね。二題目の歌詞「懐かしい友の声 ふとよみがえる・・・」

に差し掛かると、私は感極まって声が出せなくなります。

この学年は、学校祭の合唱コンクールでも素晴らしいハーモニーを響かせることができました。昔から教育現場では「歌をしっかりと歌える学年にしよう」と一つの良い学年の姿として「歌」が話題に上がってきました。まさに、この学年は「歌をしっかりと歌える学年」と言えると思います。卒業式では、感極まって大きな声で歌えないかもしれませんが、卒業式練習では素晴らしいハーモニーを奏でていました。最後まで素敵な姿を見せてくれるものと期待しています。



ピアノ伴奏 菊澤舞羽さん（3-3）